

NEWS

2018年12月16日(日)

Page: 3



【本件に関するお問い合わせ先】

公益社団法人日本アメリカンフットボール協会

TEL: 03-3450-9360 FAX: 03-3450-9361

広報担当: 清水 TEL: 090-7241-7556

E-mail: jafahq@americanfootball.jp

Web: www.americanfootball.jp

FOR USE AS DESIRED

報道関係各位

関西学院大が2年ぶり29度目の甲子園ボウル制覇！

12月16日、第73回甲子園ボウルが行われ、関西学院大学が早稲田大学との一戦を37対20で制した。2年ぶり29度目となる大学日本一の座を手にした関学大は、2019年1月3日、東京ドームにおいて開催されるアメリカンフットボール日本選手権『プルデンシャル生命杯第72回ライスボウル』への出場権を手にした。

先制したのは、3年連続52回目の出場となった関学大だった。関学大のレシーブで始まったこの日の試合、自陣26ヤードから攻撃を始めた関学大はQB奥野耕世のパス、RB中村行佑のランで連続ファーストダウンを獲得すると、1回のパス失敗を挟んで迎えた敵陣49ヤードからの第2ダウンでRB渡邊大が右オフタックルを駆け抜ける48ヤードのビッグゲイン。そして、ゴール前1ヤードの場面でRB中村が中央ダイブでエンドゾーンへ飛び込み先制タッチダウンを決めた。

いきなり7点のビハインドを背負った早稲田大もすかさず反撃した。自陣31ヤードから始まった最初のドライブでQB柴崎哲平からWR遠藤健史への36ヤードパスなどで敵陣へ侵入。さらに片岡遼也のランとパスレシーブでゴール前まで迫ると、最後はRB元山伊織が7ヤードタッチダウンを決めて試合を振り出しに戻した。

同点に追いつかれた関学大は続く攻撃でスリーアンドアウトに終わったが、DB畑中皓貴が早稲田大QB柴崎のパスをインターセプト。攻撃権を奪い返した関学大は、ゴール前1ヤードまで攻めるとタッチダウンに繋がられなかったが、K安藤亘佑の21ヤードフィールドゴールで加点した。

攻撃の手を緩めない関学大は、第2Q序盤にK安藤が28ヤードフィールドゴールを成功。なおも、DB西原光平のパントブロックで得た攻撃権をQB光藤航哉の1ヤードタッチダウンランに繋げて追加点を奪った。その後も関学大は守備陣が奮闘して、早稲田大に追加点を与えず。その頑張りに攻撃陣が応えて、RB三宅昂輝が41ヤードタッチダウンランを決めて、前半を27対7で折り返した。

第3Q序盤はこう着状態が続いたが、関学大がQB奥野のパスと中村、三宅のラン攻撃でゴール前まで攻め入り、第3Q12分4秒にQB光藤から左サイドにいたTE対馬隆太へタッチダウンパス。7点を追加してリードを広げた。その直後に66ヤードタッチダウンパスを含む2プレイで7点を返された関学大だったが、第4Q3分54秒にK安藤がこの日自身3本目となるフィールドゴールを決めてダメを押しした。

試合終盤にタッチダウンで失点した関学大だったが、その後の早稲田大が蹴ったオンサイドキックを着実にカバーして勝利を確実のものにした。最終的に関学大は、パス獲得ヤードでは計197ヤードと計311ヤードの早稲田大を下回ったが、ラン獲得ヤードでは287ヤードと74ヤードの早稲田大を大きく上回った。

なお、この試合の最優秀選手には、パス15回中12回成功、149ヤードに加えランでも6回49ヤードを稼いでチームの勝利に貢献した関学大のQB奥野が選出された。甲子園ボウル敢闘選手には、早稲田大QB柴崎哲平が選ばれた。なお、QB奥野はミルズ杯(年間最優秀選手)も受賞した。

以下がコメント

関学大 鳥内秀晃監督

「(試合は)もつれるかと思ったけど、思いのほかディフェンスラインが頑張ってくれましたので、我々が有利な立場にたてました。けどいいチャンスももらいながらフィールドゴール2本に終わったので、僕自身嫌な雰囲気がありました。でも、その後も点を取ってくれたので、終始我々のリズムでできたのは大きかったです。(パントブロックについては)狙っていました。」

QB 奥野 耕世

「(今日の試合を振り返って)初めからオフェンスでリズムに乗れたので、それが今日の結果につながったと思います。パスは、上手いレシーバーに助けられました。優勝はめちゃくちゃうれしいです。(ミルズ杯受賞について)周囲の人たちに助けてもらったおかげで取れた賞だと思います。周りに感謝しています。」

アメリカンフットボール日本選手権 プルデンシャル生命杯 第72回ライスボウル

記者発表会

- (日 時) 平成30年12月18日(火) 記者発表会 : 13:00 から
キックオフパーティー: 13:30 から
- (会 場) 東京ドームホテル B1F「シンシア」(住所: 東京都文京区後楽 1-3-61)
※キックオフパーティーも「シンシア」において開催します
- (出 席) 学生代表チーム: 甲子園ボウル勝者関西学院大学の監督・主将
社会人代表チーム: ジャパンエックスボウル勝者※の監督・主将
※富士通フロンティアーズと IBM ビッグブルーの勝者

大会実施要項

- (名 称) アメリカンフットボール日本選手権 プルデンシャル生命杯 第72回ライスボウル
American Football Japan Championship, Rice Bowl 72 by Prudential
- (主 催) 公益社団法人日本アメリカンフットボール協会、朝日新聞社
- (主 管) 日本学生アメリカンフットボール協会
一般社団法人日本社会人アメリカンフットボール協会
- (運営協力) 一般社団法人関東学生アメリカンフットボール連盟
一般社団法人日本社会人アメリカンフットボール協会
- (後 援) スポーツ庁、アメリカ大使館、日刊スポーツ新聞社、NHK
- (特別協賛) プルデンシャル生命保険株式会社
- (協 力) 株式会社東京ドーム他
- (日 時) 平成30年1月3日(木) 試合開始 15:00 (開場 10:00)
- (場 所) 東京ドーム
- (試 合) 学生代表チーム(一塁側) VS 社会人代表チーム(三塁側)
- (出場資格) 学生は全日本大学選手権「甲子園ボウル」における優勝チーム
社会人は日本社会人選手権「ジャパンエックスボウル」における優勝チーム
- (競技規定) 1. 平成29年度公益社団法人日本アメリカンフットボール協会競技規則による
2. 勝敗が決定しない場合は、両者優勝とする
- (入 場 料) 指定席(ビュッフェ付バルコニー席)¥7,000(前売りのみ)
指定席(バルコニー席): 当日券¥5,000(前売り¥4,000)
指定席(1階席): 当日券¥3,000(前売り¥2,500)
自由席(一般) 当日券 ¥2,500(前売り ¥2,000) 高校生¥500(当日券のみ)
※中学生以下無料/大会プログラム無料配布
- (発売期間) 平成29年11月25日(土)から平成30年1月3日(水)
- (発売場所) チケットぴあ:Pコード [840-997]、ローソンチケット:Lコード [34279]
CN プレイガイド 電話:0570-08-9999(オペレーター10:00 から 18:00)
WEB:<http://www.cnplayguide.com/>
セブンチケット:店舗マルチコピー機「ライスボウル」で検索
イープラス:<http://eplus.jp/ricebowl/>(PC/携帯共通)※ファミリーマート店頭 Fami ポート
- (テレビ放映) NHK BS1 平成31年1月 3日(木) 15:00 から試合終了まで
- (問合せ先) ライスボウル実行委員会(日本アメリカンフットボール協会) 03-3450-9360
- (スケジュール) 10:00 開場(ゲートオープン)
10:10 女子タッチフットボール全日本王座決定戦 第24回さくらボウル
11:40 関東中学生アメリカンフットボール オールスター戦
15:00 ライスボウル
ハーフタイムショー: 2018年度 ジャパンカップ優勝(創価ルネサンス・バンガード)
本競技会は、日本アンチ・ドーピング規程が適用されます。